

令和 7 年 12 月 10 日
愛 媛 大 学

共に学び、生きる共生社会コンファレンス 「〇(まる)のつどい」を開催

愛媛大学では、文部科学省から令和 7 年度「学校卒業後における障害者の学びの支援推進事業『他分野連携による新たな障害者の生涯学習のモデル・ネットワーク構築』」を受託し、障害者の生涯学習に関する取組を行っています。

上記事業の一環として、全国 16箇所で、文部科学省と受託団体が主催する「共に学び、生きる共生社会コンファレンス」を開催しています。教育学部附属インクルーシブ教育センターでは、「障害があってもずっと学びたい！」「学校卒業後も学び続けたい！」という障害者の願い、そして共生社会を実現するための第一歩として「〇(まる)のつどい」と題して、下記のとおりコンファレンスを開催します。

「〇(まる)のつどい」というテーマには、障害者の生涯学習に関わるすべての人が多様性を尊重し、あらがままの心で交流し、三位一体となった集いにしたいという思いが込められています。

障害者による音楽活動の発表（バンド演奏）や障害者の生涯学習支援に関わるシンポジウムや分科会等、様々なプログラムがございます。

つきましては、地域へ広く周知いただきますとともに、取材くださいますようお願ひいたします。

記

テーマ：共に学び、生きる共生社会コンファレンス 〇(まる)のつどい

～誰もが学び続けられる社会に向けて みんなでつくる学びの場～

日 時：令和 7 年 12 月 25 日（木）12 時 45 分～17 時 00 分（12 時 30 分開場）

場 所：松山市青少年センター（松山市築山町 12-33）

対 象：障害のある方、学びの支援者・関係者、障害者の学びに関心のある方など、

どなたでもご参加いただけます。

参加費：無料

参加申込方法：チラシの二次元コードからお申し込みください。【12 月 15 日（月）まで】

<https://forms.gle/s5BrwtSL563SWUyDA>

駐車場：会場地下の駐車場をご利用ください。

本件に関する問い合わせ先

愛媛大学教育学部附属インクルーシブ教育センター

TEL:089-913-7883

Mail:maru.conference.eu@gmail.com

※送付資料 3 枚（本紙を含む）



共に学び、生きる 共生社会コンファレンス

誰もが学び続けられる社会にむけて
みんなでつくる学びの場

日 時

2025年12月25日(木)

12:45 - 17:00(12:30開場)

場 所

松山市青少年センター

〒790-0864 愛媛県松山市築山町12-33

参加費
無料

障害者、支援者、これまで障害者とかかわったことのない方なども含めた
さまざまな方々にとって、障害理解の促進、学びの場の担い手の育成、
障害者の学びの場の拡大を目指し、障害について共に考える機会にします。

主 催

国立大学法人愛媛大学、文部科学省

申込み

こちらの申込みフォームからお申込みください ▶
【2025年12月15日(月)まで】



【お問い合わせ】共に学び、生きる共生社会コンファレンス まるのつどい事務局

〒790 - 0855 愛媛県松山市持田町 1-5-22
愛媛大学教育学部附属インクルーシブ教育センター
maru.conference.eu@gmail.com
089 - 913 - 7883

詳細は裏面・HPをご覧ください

まるのつどい 愛媛大学

検索



開催内容

オープニングセレモニー 12:45 - 13:15 (開場 12:30)

- ・オープニングライブ (もうろうがかり)
- ・開催趣旨説明
- ・文部科学省挨拶・行政説明



全体会 13:30 - 15:15

なぜ「障害者の生涯学習」に取り組むのか



文部科学省が「障害者の生涯学習」の取組を開始して約10年。愛媛県では他県に先駆けて「まるのつどい」の開催などの取組を開始したものの、未だに十分な学びの機会が確保されたとは言い難い状況です。改めて、先進的な取組を進める自治体の事例や、愛媛県内の民間事業者の取組、教育や福祉等の分野を超えた連携の取組などを共有し、今後の取組の発展・充実に向けた課題の整理、今後の方向性について議論を行います。

登壇者

関 福生 氏

新居浜市生涯学習センター 所長



私は昭和56年に泉川公民館主事からスタートし、現在も社会教育や生涯学習の分野で活動していますが、いつでも、どこでも、だれでも学ぶことのできる生涯学習社会の実現には遠い現状を感じています。皆さんと一緒に学び合い、対話を重ね、一步でもその実現に近づきたいと願っています。

井口啓太郎 氏

国立市教育委員会教育部公民館館長補佐

文部科学省「障害者の生涯学習推進アドバイザー」



社会教育主として2009年より障害や困難の有無にかかわらず若者が共に学びあう実践「コーヒーハウス」に関わる。2018年から文部科学省に出向し、障害者の生涯学習政策を担当。2022年より現職に帰任。現在は大学院生として、障害者の生涯学習をテーマにした研究を行います。

分科会 15:30 - 17:00

1 障害者の学びの場づくりと 大学に期待される役割

「社会課題の解決における大学の活用」「(青年期にある)当事者の学びの意欲に答える場所」「学生への教育面での影響」など、地域の重要な教育資源である大学が、障害者の生涯学習において期待される役割について、改めて考える機会とします。

2 文化芸術活動としての障害者の生涯学習

美術館や「えひめ子どもの城」などで実施したワークショップなどの取組事例を通して、より多くの社会教育施設で障害者の文化芸術活動の機会をどのように作っていくのか協議します。

3 「読むこと」のバリアフリー

図書館が求められる読書バリアフリーにかかる取組を網羅的に理解するとともに、誰もが読書を楽しめる社会の構築に向けた事例等を学びます。

4 「障害者の生涯学習」にかかる 公民館講座の開設

公民館で「障害者の生涯学習」に取り組むために必要なことについて、主に公民館等の講座企画担当者や、自治体の社会教育・生涯学習担当者を対象とした講義・ワークショップを行います。

情報拠点ブース 12:30 - 17:00

文部科学大臣表彰受賞団体や愛媛大学教育学部の取組みを紹介しています。ぜひ、のぞいてみてください！